

トピックス

・ 中・四国地方初の脳死心臓移植が無事終了 国内4例目

岡山大学病院は12月7日、拡張型心筋症の10代少女に脳死下心臓移植手術を行い、無事終了しました。(ドナー:10代男児、提供施設:長崎医療センター) 中・四国地方での脳死下心臓移植手術は初めてで、15歳未満の子どもからの脳死移植は国内4例目です。

手術は、大学院医歯薬学総合研究科の佐野俊二教授(心臓血管外科学)ら移植チームによる約30人体制で実施。これまで3例ある15歳未満の子どもからの脳死心臓移植は、東京大学医学部附属病院と大阪大学医学部附属病院で行われていますが、岡山大学病院での手術が無事に実施されたことで、中・四国地方に住む同じような状況の患者さんにとって遠方へ治療に赴く経済的・精神的負担が軽減されることとなります。



参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3041.html

・ 本学教員が科研費審査委員として日本学術振興会より表彰

大学院医歯薬学総合研究科の宮地弘幸教授、大学院環境生命科学研究科の木村吉伸教授、同研究科の津田敏秀教授が、日本学術振興会から10月31日、平成25年度科研費の第1段審査(書面審査)において「有意義な審査意見を付した審査委員」として表彰され、11月29日に学長室で森田潔学長から表彰状と記念品が手渡されました。

日本学術振興会は、平成20年度から、科研費の配分審査の質を高める観点から、審査終了後、第1段審査結果の検証を行い、その結果に基づいて有意義な審査意見を付した審査委員を選考・表彰しています。平成25年度は約5,300人の審査委員の中から124人が選考されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3036.html

・ 2013 岡山大学うえるかむデーを開催 イルミネーションで彩る岡山大学

岡山大学は12月11日、地域との交流イベント「2013 岡山大学うえるかむデー2013～あなたに贈る色とりどりのおもてなし～」を津島地区で開催。同日、マスカットユニオン周辺でイルミネーション点灯式も開催し、「夜にきらめくちいさな街」をテーマに、青やピンク、オレンジ色の小さな明かりが連なってツリーや散歩道を彩りました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3050.html



最近の大学の取組

・ 「大学のグローバル化と大学改革」講演会を開催

世界に通用するグローバル大学を目指し、岡山大学は11月28日、グローバル化に関する国の政策について学ぶ講演会「大学のグローバル化と大学改革」を鹿田地区のJunko Fukutake Hallで開催。文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室の佐藤邦明・国際企画専門官が、「グローバル化時代における大学の国際化と人材育成」と題して講演し、本学の教職員ら約120人が熱心に聴講しました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3035.html

最近注目の研究

・腫瘍融解ウイルス「テロメライシン」のがん幹細胞に対する抗腫瘍効果を証明

大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学分野の藤原俊義教授、矢野修也医師、カリフォルニア大学サンディエゴ校（外科）の Robert Hoffman 教授らの研究グループは、オンコリスバイオファーマ株式会社が臨床開発を進める腫瘍融解ウイルス「テロメライシン」が、休眠状態にある細胞周期を回転させることで、効率よく胃がん幹細胞を殺傷することを世界で初めて明らかにしました。

本研究成果は 2013 年 12 月 1 日、米国科学雑誌『Clinical Cancer Research』に掲載され、同号の「Highlights」にも選出されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id130.html

・がん幹細胞から生まれる細胞が幹細胞自身を養う 世界で初めて証明

大学院自然科学研究科ナノバイオシステム分子設計学研究室の妹尾昌治教授、水谷昭文助教らの研究グループは、マウス iPS 細胞から作成したがん幹細胞を用いて、がん幹細胞から分化したがん細胞が、がん幹細胞自身の維持に必要であることを世界で初めて明らかにしました。

本研究成果は 2013 年 12 月 3 日、がん研究の国際科学雑誌『International Journal of Cancer』電子版で公開されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id125.html

学生の活躍

・女子アイスホッケー部が第 1 回日本学生女子大会で準優勝

岡山大学女子アイスホッケー部が 11 月 22～24 日、青森県八戸市で開催された「第 1 回日本学生女子アイスホッケー大会」に出場し、準優勝しました。

アイスホッケーは、1 チーム 6 人の選手が氷上でスティックを操り、パック（球技におけるボール相当）を相手方のゴールに入れ合う競技。本大会には全国から 12 チームが参加し、勝敗を競いました。岡山大学女子アイスホッケー部は、全員大学からアイスホッケーを始めた初心者ですが、週 2～3 回のペースで行う練習では、社会人チームと合同で行うものもあり、基礎から試合中のコンビネーションまでしっかり指導を受けています。同部の織田萌子キャプテン（経済学部・3 年）は、「普段からしっかりコミュニケーションをとるように心がけており、大会でもよく声が出ていた。来年は雪辱を果たし、ぜひ優勝したい」と話しています。



参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3007.html

行事予定

- ・ITP 総括シンポジウム 2 月 1 日（土）13:00～ Junko Fukutake Hall
- ・埋蔵文化財調査研究センター特別展示 2 月 7 日（金）～23 日（日） 岡山シティミュージアム

岡山大学は、以下のページでも情報を発信しています

- ・岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>
- ・岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>
- ・岡山大学 Twitter https://twitter.com/okayama_uni
- ・岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学総務・企画部 企画・広報課

Tel : 086-251-7293, 7292 Mail : www-adm@adm.okayama-u.ac.jp